

第24回透析医療費実態調査報告

太田圭洋*1 宍戸寛治*2 土屋晋一郎*1 山川智之*1 戸澤修平*2 篠田俊雄*1
甲田 豊*2 隈 博政*1 秋澤忠男*2

key words : 透析医療費, レセプト, 診療報酬改定, HIF-PHD 阻害薬, PTA

要 旨

2020年の透析医療費実態調査の結果から、維持透析一回あたりの請求額は3,024.4点と前回の3,083.5点から60点の減少、一昨年(2018年)の3,063.5と比較し39.1点の減少であった。この減少は、2018年改定後のバイオシミラー登場による赤血球造血刺激因子(ESA)製剤価格の低下により2020年診療報酬改定において人工腎臓点数が56点と大幅に引き下げられたことに加え、投薬料が大幅に減少したことが原因である。ただオンラインHDF症例割合の上昇により、請求点数の減少は、一定程度緩やかとなったと考えられた。

1 はじめに

日本透析医会の透析医療費実態調査は1997年より開始して今年で24回目となる。この調査結果は日本医師会や厚生労働省へ提出する要望書の裏付けになっている。

前回2019年の調査は、暦の関係(6月の月水金が12回)から、結果を分析するのに、さまざまな補正を行い1回あたりの透析医療費を推計した。本年の調査は例年と同様に結果の補正は行っていない。

2 調査方法

調査の対象は、①慢性維持透析患者外来医学管理料(慢透)を算定していること、②定点観測は6月分とし、月水金(昼・夜すべてのシフト)で月13回の透析を実施していること、③オフラインHDFやリクセ

ル使用症例は除外すること、である。今回も会員諸兄弟のご協力により161施設より12,083件の外来レセプトデータをいただき分析を行った。本年度調査もクラウド集計を行うシステムで調査を実施しており、コンピュータソフトが自動的に対象レセプトを抽出している。今回、通常の調査対象基準には含まれるものの、輸血を92,749点実施したレセプトが存在し、そのレセプトにより大幅に輸血・手術の点数が増加したため、この1レセプトのみ調査から除外した。その結果、有効レセプト数は12,082件である。

3 令和2年度(2020年度)改定の概要

2020年診療報酬改定でも、透析医療はさまざまな内容の改定が行われた。その詳細は前号(Vol. 35, No. 2, 285-291)に改定の経緯も含め詳述している。そのうち本調査の対象となる維持透析のレセプトに影響を及ぼす可能性のある項目を以下に簡潔に記載する。

3-1 人工腎臓の引き下げとHIF-PHD阻害薬の扱い

2020年改定ではHIF-PHD阻害薬の薬価収載に伴い、人工腎臓点数の体系が大幅に変更となった。表1にその詳細を示すが、従来のESAを包括した点数は前回改定から56点の引き下げとなり、HIF-PHD阻害薬を院外処方した場合の人工腎臓の包括点数(人工腎臓ニホへ)が新設された。この点数は前述のESA包括の点数より126点低く設定された。人工腎臓点数は、以前から存在する時間区分による区分(4時間未満, 4~5時間, 5時間以上)、効率性による区分(人工腎臓1,

表 1 人工腎臓等の診療報酬点数

単位 (点 = 10 円)

	「施設の効率性」による区分	旧点数			新点数			
		維持透析 1	維持透析 2	維持透析 3	維持透析 1	維持透析 2	維持透析 3	
人工腎臓技術料 (1日につき)	慢性維持透析 (下記 を除く) ^{†1}	～4 時間	1,980	1,940	1,900	1,924 (-56)	1,884 (-56)	1,844 (-56)
		4～5 時間	2,140	2,100	2,055	2,084 (-56)	2,044 (-56)	1,999 (-56)
		5 時間～	2,275	2,230	2,185	2,219 (-56)	2,174 (-56)	2,129 (-56)
	慢性維持透析 (HIF- PHD 阻害薬を院外 処方する場合) ^{†2}	～4 時間	/			1,798	1,758	1,718
		4～5 時間				1,958	1,918	1,873
		5 時間～				2,093	2,048	2,003
	その他		1,580			1,580 (±0)		
透析液水質確保加算 (1日につき)		10			10 (±0)			
長時間透析加算 (1日につき) ^{†3}		150			150 (±0)			
慢性維持透析濾過加算 (1日につき)		50			50 (±0)			
夜間・休日加算 (1日につき)		380			380 (±0)			
障害者加算 (1日につき)		140			140 (±0)			
導入期加算 (導入後 1 月まで・1 日 につき)	1	300			200 (-100)			
	2 ^{†4}	400			500 (+100)			
下肢末梢動脈疾患指導管理加算 (1 月につき)		100			100 (±0)			
慢性維持透析患者外来医学管理料 (1 月につき)		2,250			2,250 (±0)			
腎代替療法実績加算 ^{†4}		100			100 (±0)			
慢性維持透析管理加算 (入院 1 日につき) ^{†5}		100			100 (±0)			

†1 透析液、抗凝固薬、生理食塩液および ESA (赤血球造血刺激剤)、HIF-PHD 阻害薬 (院内処方のみ) を含む

†2 透析液、抗凝固薬、生理食塩液および ESA (赤血球造血刺激剤) を含む

†3 通常の人工腎臓では管理困難な兆候を有する患者に限る

†4 腹膜透析および腎移植の推進について一定の実績のある施設について算定可

†5 療養病棟入院基本料 1 を届け出、人工腎臓、持続緩徐式血液濾過、腹膜灌流または血漿交換療法を行っている患者について算定 (日本透析医学会誌 Vol. 35 No. 2 2020 p. 286 より流用)

2, 3) に加え、HIF-PHD 阻害薬を院外処方するかどうかの区分 (人工腎臓イロハ、ニホヘ) の 3 つの区分により設定されることとなり非常に複雑な診療報酬体系となった。

本調査では、すべての区分ごとに集計が可能なようシステムを改良した。

3-2 シェント関連手術の診療報酬引き下げと

3 カ月ルールの緩和

PTA 点数は、他の手術等と比較し短時間で可能な手技であるとして、6,000 点近く引き下げとなった。それと同時に 3 カ月ルールに関しては、①シェント閉塞の場合、②超音波検査において、シェント血流量が 400 mL/分以下または血管抵抗性指数 (RI) が 0.6 以上の場合には、3 カ月以内でも 1 回に限り請求可能となった (表 2)。

本調査では、PTA に関して初回と 2 回目を分けて

集計できるようにシステムの改良を行った。

3-3 人工腎臓導入期加算の見直しと、慢性時透析患者 外来医学管理料の腎代替療法実績加算への影響

2020 年改定では、人工腎臓導入期加算 2 が 400 点から 500 点へ増点、導入期加算 1 が 300 点から 200 点に変更になった。また導入期加算 2 の条件が、特に腎移植に関しての実績要件が変更されている。この導入期加算 2 の算定が慢性透析患者外来医学管理料 (慢透) の実績加算の条件となっている。導入期加算を算定する症例は本調査の対象外であるが、慢透の実績加算には影響が出る可能性がある。

3-4 ダイアライザ、ヘモダイアフィルタの 機能区分の見直し

ダイアライザの機能区分は、これまで膜面積により 1.5 m² 以上、未満で区分されていたが、今回の改定で、

表2 シェント関連手術点数における変更

単位 (点 = 10 円)

旧点数	新点数
内シェントまたは外シェント設置術 18,080	内シェント造設術 イ 単純なもの 12,080 (-6,000) ロ 静脈転位を伴うもの ^{†1} 15,300 (-2,780)
経皮的シェント拡張術・血栓除去術 18,080	経皮的シェント拡張術・血栓除去術 1 初回 12,000 (-6,080) 2 1の実施後3カ月以内に実施する場合 ^{†2} 12,000
短期滞在手術等基本料 ^{†3} 経皮的シェント拡張術・血栓除去術 37,350	短期滞在手術等基本料 ^{†3} 経皮的シェント拡張術・血栓除去術 1 初回 32,540 (-4,810) 2 1の実施後3カ月以内に実施する場合 ^{†2} 32,540

†1 穿刺することが困難な部位を走行する静脈を長さ15cm以上遊離して遠位端を切断し、穿刺することが可能な部位に転位して、断端を動脈と吻合して動静脈瘻を造設した場合算定

†2 シェント閉塞の場合、または超音波検査において、シェント血流量が400ml/分以下又は血管抵抗指数(RI)が0.6以上の場合に1回に限り請求可

†3 DPC対象病院以外で5日以内の短期入院で請求可。人工腎臓、ESAは出来高で算定可
(日本透析医会雑誌 Vol. 35 No. 2 2020 p. 287より流用)

表3 ダイアライザー等価格

単位 (円)

種類	区分	膜面積	旧価格	新価格	価格差	
ダイアライザー	Ia	1.5 m ² 未満	1,480	1,500	+20	
		1.5 m ² 以上	1,500		±0	
	Ib	1.5 m ² 未満	1,340	1,500	+160	
		1.5 m ² 以上	1,520		-20	
	IIa	1.5 m ² 未満	1,470	1,490	+20	
		1.5 m ² 以上	1,490		±0	
	IIb	1.5 m ² 未満	1,630	1,570	-60	
		1.5 m ² 以上	1,580		-10	
	S	1.5 m ² 未満	1,610	1,620	+10	
		1.5 m ² 以上	1,620		±0	
	特定積層型			5,700	5,700	±0
	HDF用フィルター			2,800	2,720	-80
HF用フィルター			4,590	4,590	±0	
B ₂ ミクログロブリン吸着型血液浄化器			22,000	21,700	-300	

(日本透析医会雑誌 Vol. 35 No. 2 2020 p. 288より流用)

この膜面積による区分が廃止された。新たな区分でのダイアライザーの償還価格を表3に示す。ダイアライザーの集計方法を、最新の区分に対応するようシステム改修を行った。

4 調査結果

表4に今回の調査を含む過去24回の集計結果の時系列表を示す。今回の調査の平均年齢は66.2歳(前年65.8歳)、透析歴9.8年(前年9.8年)であった。

請求合計点数は39,316.8点であり、一昨年(2018年)の39,826点に比し509.2点(1.3%)の減少であった。以下、時系列での点数の比較は、昨年(2019

年)の23回調査が透析回数12回と例外の年であり単純比較が困難であることから2018年との比較を行う。投薬は2,684点と2018年に比べ582.4点の減少、注射1,526.8点と2018年に比し55点増加した。夜間加算の算定割合は25.2%、障害加算の比率は25.3%とほぼ横ばいであった。また院外処方割合は67.0%と増加傾向にすこし歯止めがかかった結果となった。

今年度の調査結果の全体集計を表5に示す。

以下、点数の減少の要因を分析するにあたっては、月12回の透析レセプトから補正を行った23回調査ではなく、通常年である22回調査(2018年)と比較する。

表 4 第 1 回～第 24 回調査までの集計結果

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	1997 年	1998 年	1999 年	2000 年	2001 年	2002 年	2003 年	2004 年	2005 年	2006 年	2007 年	2008 年	2009 年
施設数(施設)	34	99	125	128	132	149	182	179	190	185	184	199	200
総数(人)	3,779	3,603	4,519	4,748	5,058	5,274	8,633	8,388	9,078	8,821	9,265	9,903	10,447
病院(人)	1,861	1,636	2,039	2,583	2,719	2,670	4,328	3,913	4,053	3,980	3,941	4,273	4,602
診療所(人)	1,918	1,967	2,480	2,165	2,339	2,604	4,305	4,475	5,025	4,841	5,324	5,630	5,845
透析回数(回)	12.5	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
平均年齢(歳)	57.1	56.4	56.9	57.8	58.4	62.6	59.4	60.2	60.8	61.4	62.1	62.4	62.9
透析歴(年)	8.5	8.9	8.7	9.0	9.0	7.8	8.96	9.01	9.1	9.03	9.2	9.3	9.3
管理指導料(点)	2,593.2	3,019.4	3,025.8	2,920.6	2,921.3	2,813.6	2,832.3	2,635.1	2,638.6	2,510.1	2,525.1	2,529.2	2,535.6
在宅(%)	7.8	6.1	6.3	7.3	7.6	10.5	8.4	9.3	9.3	9.5	10.5	11.1	11.7
注射(点)	4,633.5	4,419.8	4,186.1	4,198.1	4,697.3	4,432.3	4,637.7	4,452.5	4,602.1	1,291.8	1,363.7	1,420.0	1,481.4
投薬(点)	1,628.1	1,815.0	1,684.3	1,755.5	1,803.1	1,743.4	1,802.6	2,001.7	2,131.4	2,030.9	2,108.1	2,292.0	2,762.8
EPO(%)	72.7	78.1	78.7	79.6	81.9	83.2	82.3	83	83.97	—	—	—	—
夜間加算(%)	29.5	30.6	31.1	30.3	29.0	17.9	30.2	29.6	28.9	28.5	28.1	27.4	26.8
障害者加算(%)	25.9	19.0	17.6	20.8	21.3	24.3	20.8	21.2	20.9	22.1	22.4	22.9	23.9
検査(点)	533.9	600.9	665.3	575.1	608.0	528.5	524.1	506.3	481.2	356.5	356.9	311.5	329.7
画像診断(点)	365.8	158.9	161.2	217.7	208.0	212	228.6	218.1	208.1	186	174.3	176.1	201.6
透析食(点)	—	817.9	818	818.7	817.4	—	—	—	—	—	—	—	—
院外処方(%)	19.5	13.3	26.5	27.7	25.6	32.8	33.8	37.6	37.2	44.8	44.7	45.6	48.2
除夜障害手術(点)	43,124.7	43,525.7	43,095.5	42,303.5	42,971.6	39,286.1	39,604.8	38,795.9	38,997.1	38,362.1	38,498.3	38,162.6	38,534.1
透析医療費 (除夜障害手術)/1 回(点)	3,317.3	3,348.1	3,315.0	3,254.1	3,305.5	3,022.0	3,046.5	2,984.3	2,999.8	2,950.9	2,961.4	2,935.6	2,964.2
請求合計(点)	45,338.0	45,700.5	45,242.9	44,540.6	45,137.6	40,755.3	41,824.9	41,014.3	41,160.8	39,843.1	39,976.7	39,659.0	40,054.4
透析医療費 (請求合計)/1 回(点)	3,487.5	3,515.4	3,480.2	3,426.2	3,472.1	3,135.0	3,217.3	3,154.9	3,166.2	3,064.9	3,075.1	3,050.7	3,081.1
Ⅳ型(%)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	63.57	72.8	81.3	79.5
Ⅴ型(%)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3.4	6.6	10.5	16.9

	14	15	16	17	18	19	20		21	22	23	24
	2010 年	2011 年	2012 年	2013 年	2014 年	2015 年	2016 年		2017 年	2018 年	2019 年	2020 年
							調査①	調査②				
施設数(施設)	208	204	210	200	202	203	164	119	140	170	171	161
総数(人)	10,693	10,602	12,242	8,785	12,195	12,551	10,989	8,863	9,899	12,078	11,939	12,082
病院(人)	4,822	4,559	5,457	4,309	5,551	5,457	4,868	4,139	4,189	5,585	5,532	5,443
診療所(人)	5,871	6,043	6,785	4,476	6,644	7,094	6,121	4,724	5,710	6,493	6,407	6,639
透析回数(回)	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	12	13
平均年齢(歳)	63.4	63.6	64.3	68.5	64.7	65.0	65.4	64.8	65.3	65.5	65.8	66.2
透析歴(年)	9.2	9.4	9.5	8.2	9.7	9.7	9.7	10.0	9.9	9.8	9.8	9.8
管理指導料(点)	2,534.8	2,537.6	2,539.5	2,526.1	2,489.1	2,490.9	2,514.4	2,511.8	2,516.5	2,558.4	2,568.3	2,585.7
在宅(%)	12.5	12.5	13.2	14.6	12.9	12.2	12.0	11.6	12.6	12.6	12.7	13.4
注射(点)	1,467.6	1,494.0	1,457.8	1,482.7	1,534.5	1,509.0	1,302.9	1,308.5	1,501.3	1,471.4	1,398.1	1,526.8
投薬(点)	2,887.5	3,112.7	3,229.9	3,198.1	3,710.0	3,809.0	3,491.1	3,440.8	3,286.9	3,266.8	2,733.1	2,684.4
EPO(%)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
夜間加算(%)	26.2	26.6	25.5	11.0	25.7	24.9	24.8	26.0	24.8	25.8	25.0	25.2
障害者加算(%)	23.9	24.0	24.3	27.5	23.6	23.0	24.1	24.3	24.6	26.0	25.9	25.3
検査(点)	315.7	316.1	355.8	358.8	419.5	424.0	393.6	407.0	409.6	428.8	422.4	417.0
画像診断(点)	215.2	219.3	232.1	278.8	237.4	256.3	249.7	255.2	246.1	264.8	255.6	276.0
透析食(点)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
院外処方(%)	47.4	50.3	52.1	53.5	59.0	63.7	63.0	64.0	64.5	67.3	67.0	67.0
除夜障害手術(点)	38,330.4	38,461.3	38,318.6	38,324.7	38,614.2	38,582.3	38,112.6	38,083.4	38,325.6	37,807.9	35,346.6	37,314.4
透析医療費 (除夜障害手術)/1 回(点)	2,948.5	2,958.6	2,947.6	2,948.1	2,970.3	2,967.9	2,931.7	2,929.5	2,948.1	2,908.3	(13 回) 2,924.4 (12 回) 2,845.6	2,870.3
請求合計(点)	39,835.2	39,986.5	39,873.2	39,433.5	40,201.3	40,196.7	39,779.5	39,805.0	39,998.2	39,826.0	37,266.5	39,316.8
透析医療費 (請求合計)/1 回(点)	3,064.2	3,075.9	3,067.2	3,033.3	3,092.4	3,092.1	3,060.0	3,061.9	3,076.8	3,063.5	(13 回) 3,084.4 (12 回) 3,105.5	3,024.4
Ⅳ型(%)	76.7	69.8	68.2	63.4	58.7	56.6	—	—	—	—	—	—
Ⅴ型(%)	21.4	27.7	28.8	25.2	27.4	25.7	—	—	—	—	—	—

表5 病院・診療所全体の集計結果

	年齢	透析歴	再診計	12：地域包括	13：指導	栄養指導	栄養指導(通信)
標本数	12,082	11,820	12,064	287	12,082	2,475	7
合計	799,664	115,530	12,010,592	63,482	31,240,538	498,600	1,260
平均	66.19	9.77	995.57	221.19	2585.71	201.45	180.00
標準偏差	12.81	8.79	79.04	37.05	271.38	13.01	0.00
	集団栄養(80)	特定疾患(225)	特定疾患(100)	腎代替加算(100)	特定疾患(147)	特定疾患(87)	その他情報
標本数	118	4,237	0	3,796	1,444	512	5,209
合計	9,440	1,896,975	0	379,600	420,420	85,434	762,059
平均	80.00	447.72	0.00	100.00	291.15	166.86	146.30
標準偏差	0.00	22.55	0.00	0.00	20.27	23.87	170.08
	14：在宅	25：処方	20：投薬	うちレグパラほか	30：注射	うちVD3	40：処置
標本数	1,625	4,449	4,506	2,933	9,144	6,981	12,082
合計	3,058,438	960,534	12,095,781	6,481,576	13,960,964	11,357,424	390,349,844
平均	1882.12	215.90	2684.37	2209.88	1526.79	1626.91	32308.38
標準偏差	1503.41	112.80	2051.51	1676.27	1341.65	1068.62	2722.88
	ペンレス・ユーパッチ	人工腎1 4時間未満(イ)	人工腎1 4時間未満(ニ)	人工腎1 4-5時間(ロ)	人工腎1 4-5時間(ホ)	人工腎1 5時間以上(ハ)	人工腎1 5時間以上(ヘ)
標本数	6,370	1,646	4	9,937	24	2,245	4
合計	532,619	22,830,184	37,758	250,911,516	559,988	51,509,647	41,860
平均	83.61	13870.10	9439.50	25250.23	23332.83	22944.16	10465.00
標準偏差	16.74	10518.97	8276.17	5361.01	5084.42	9319.32	9927.97
	人工腎2 4時間未満(イ)	人工腎2 4時間未満(ニ)	人工腎2 4-5時間(ロ)	人工腎2 4-5時間(ホ)	人工腎2 5時間以上(ハ)	人工腎2 5時間以上(ヘ)	人工腎3 4時間未満(イ)
標本数	10	0	85	0	6	0	0
合計	199,704	0	2,248,400	0	119,570	0	0
平均	19970.40	0.00	26451.76	0.00	19928.33	0.00	0.00
標準偏差	9043.20	0.00	574.12	0.00	11802.28	0.00	0.00
	人工腎3 4時間未満(ニ)	人工腎3 4-5時間(ロ)	人工腎3 4-5時間(ホ)	人工腎3 5時間以上(ハ)	人工腎3 5時間以上(ヘ)	長時間加算	うちダイア計
標本数	0	0	0	0	0	255	5,997
合計	0	0	0	0	0	393,450	11,804,802
平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1542.94	1968.45
標準偏差	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	632.51	661.63
	うち1a型	うち1b型	うち2a型	うち2b型	うちS型	うち特定積層型	透析濾過加算 (50)
標本数	3,071	5	2,144	452	301	80	6,371
合計	5,728,800	8,400	3,999,756	911,856	609,930	546,060	4,081,650
平均	1865.45	1680.00	1865.56	2017.38	2026.35	6825.75	640.66
標準偏差	341.41	540.00	305.16	175.65	319.56	1573.90	55.05
	ヘモダイア フィルター	夜間	障害	水質確保	下肢末梢	50：手術	手術・麻酔
標本数	6,355	3,047	3,062	11,933	11,114	326	349
合計	22,145,696	13,655,680	5,470,360	1,551,290	1,111,400	5,058,238	5,066,038
平均	3484.77	4481.68	1786.53	130.00	100.00	15516.07	14515.87
標準偏差	301.29	1114.85	219.38	0.00	0.00	7386.68	8083.64
	うち輸血	うちPTA(初回)	うちPTA(初回 実施後3月以内)	初回実施後3月 以内理由ア	初回実施後3月 以内理由イ	うちシャント	うちその他
標本数	38	203	50	8	20	8	60
合計	200,252	3,629,719	909,362	138,181	363,766	50,174	268,731
平均	5269.79	17880.39	18187.24	17272.63	18188.30	6271.75	4478.85
標準偏差	3684.59	4291.39	3590.60	1463.06	2407.41	3074.09	7322.12
	60：検査	うち生体	うち検体	70：画像	うち胸部	うち胸部ほか	80：その他
標本数	8,338	4,840	6,121	9,124	7,185	3,003	8,138
合計	3,476,570	2,427,412	990,382	2,518,506	432,833	2,085,673	2,339,948
平均	416.95	501.53	161.80	276.03	60.24	694.53	287.53
標準偏差	528.56	541.63	200.44	679.32	41.04	1037.13	392.20

表 5 (つづき)

	院外処方	請求合計	除夜間	除障害	除夜障手	レグバラ	オルケディア
標本数	8,106	12,082	12,082	12,082	12,082	105	993
合計	1,976,166	475,025,189	461,369,509	469,554,829	450,833,111	248,460	1,445,091
平均	243.79	39316.77	38186.52	38864.00	37314.44	2366.29	1455.28
標準偏差	139.26	4936.02	4558.40	4820.60	3217.09	1526.91	932.55
	ホスレノール	レミッチ	エルカルチン	リオナ	ピートル	オキサロール	ロカルトロール
標本数	1,776	283	20	769	473	3,575	1,521
合計	2,366,201	815,023	43,476	729,816	833,509	3,658,924	1,590,005
平均	1332.32	2879.94	2173.80	949.05	1762.18	1023.48	1045.37
標準偏差	776.00	1549.74	785.49	519.33	1000.97	535.56	516.01
	エルカルチンFF	パーサビブ	ロケルマ(合算)				
標本数	2,397	2,301	0				
合計	2,521,600	3,586,895	0				
平均	1051.98	1558.84	0.00				
標準偏差	360.18	816.78	0.00				

今回の透析 1 回あたりの請求合計 3,024.4 点は 2018 年と比較し 39.1 点の減少となった。2020 年改定では 56 点人工腎臓点数が引き下げられたが、そこまで大幅な 1 回あたり点数の減少でないのは、オンライン HDF 比率の増加による。2018 年に 37.7% から 2019 年に 46.4%、2020 年に 52.7% と大幅に増加し、その結果、ヘモダイアフィルタ使用症例、透析ろ過加算の算定症例の比率が増加したことにより処置料の減少が圧縮されたと考えられる。

2018 年改定で、効率性により人工腎臓は 1~3 に区分された。前回 (2019 年) の調査では人工腎臓 2 での請求は 111 件であったが、今回は 101 件と減少。人工腎臓 3 での請求は前回 35 件認められたが、今回は 0 件となり、ほとんどの請求は人工腎臓 1 での請求となっている。

2020 年改定により新設された HIF-PHD 阻害薬を院外処方した場合に算定する人工腎臓ニホへは、人工腎臓 1 において 32 件 (0.03%) のみの請求であった。

投薬料の 2,684.4 点は 2018 年の 3,266.8 点と比較し 582.4 点の減少、透析 1 回あたり 45 点の大幅な減少である。この間、高額薬剤であるシナカルセット、ランタン等の後発医薬品が上市されたことに加え、大幅に薬価が引き下げられていることが要因と考えられた。これに関しては院内処方症例の分析で後述する。

手術料は PTA の点数の引き下げから大幅な減少を認めた。2019 年には 24,227.1 点であった PTA 点数は、今年 18,000 点前後へ 6,000 点の PTA 点数引き下げ分、低下を認めた。今回から初回と 2 回目を区別して

集計できるように集計システムを修正した。初回が 203 件、2 回目が 50 件請求されており、約 20% が 2 回目の請求という結果であった。また今年の改定から、2 回目の場合、その理由をア (閉塞)、理由イ (超音波所見) に関してコードをレセプトに記載するが必要があり、合計で 2 回目 PTA の 50 件と一致しなければならないが、記載漏れが存在し合計で 28 件となっていた。閉塞と狭窄の比率は、8 : 20 という結果であった。

2016 年改定で新設された下肢末梢動脈疾患指導管理加算の算定は 11,114 件と全体の 92.0% で前回の 91.8% とほぼ変化はなかった。昨年までは増加傾向にあったが上がり止まりの印象である。

慢性透析患者外来医学管理料 (慢透) の腎代替療法実績加算は、今回の改定で要件が厳しく変更となっている。前回の 2019 年には 33.0% であった算定件数は、2020 年調査では 3,943 件 (31.4%) に減少を認めた。移植の実績が過去 2 年で 1 人から前年度に 3 人以上と厳格化されたことの影響と考えられた。

5 院内処方施設の分析

院外処方比率は、本年は 67.0% と前年の 67.0% と比較し変化はなかった。ここ数年、院外処方比率の上昇傾向は止まった印象である。院外処方比率の影響を排除し投薬料の傾向を把握するために過去、院内・院外処方分けての分析を行ってきた。院内処方症例の集計結果を表 6 に示す。

院内処方 3,938 例では、請求合計は 41,145.9 点とな

表6 院内処方施設の集計結果

	年齢	透析歴	再診計	12：地域包括	13：指導	栄養指導	栄養指導(通信)
標本数	3,938	3,938	3,936	219	3,938	677	3
合計	260,897	39,465	3,953,623	51,210	10,223,605	136,010	540
平均	66.25	10.02	1004.48	233.84	2596.14	200.90	180.00
標準偏差	12.74	8.96	88.90	6.66	260.63	9.78	0.00
	集団栄養(80)	特定疾患(225)	特定疾患(100)	腎代替加算(100)	特定疾患(147)	特定疾患(87)	その他情報
標本数	2	1,487	0	1,185	507	146	3,266
合計	160	664,875	0	118,500	149,058	24,099	269,863
平均	80.00	447.13	0.00	100.00	294.00	165.06	82.63
標準偏差	0.00	25.27	0.00	0.00	0.00	26.41	133.47
	14：在宅	25：処方	20：投薬	うちレグパラほか	30：注射	うちVD3	40：処置
標本数	572	3,938	3,938	2,720	2,891	2,171	3,938
合計	1,305,251	902,411	11,684,947	5,987,609	4,406,436	3,416,258	127,413,109
平均	2281.91	229.15	2967.23	2201.33	1524.19	1573.59	32354.78
標準偏差	1501.76	108.51	1977.90	1659.13	1425.40	1046.16	2674.17
	ペンレス・ユーパッチ	人工腎1 4時間未満(イ)	人工腎1 4時間未満(ニ)	人工腎1 4-5時間(ロ)	人工腎1 4-5時間(ホ)	人工腎1 5時間以上(ハ)	人工腎1 5時間以上(ヘ)
標本数	2,202	570	0	3,200	0	704	0
合計	185,188	8,296,288	0	81,225,984	0	15,841,441	0
平均	84.10	14554.89	0.00	25383.12	0.00	22502.05	0.00
標準偏差	16.12	10538.83	0.00	5035.18	0.00	9574.67	0.00
	人工腎2 4時間未満(イ)	人工腎2 4時間未満(ニ)	人工腎2 4-5時間(ロ)	人工腎2 4-5時間(ホ)	人工腎2 5時間以上(ハ)	人工腎2 5時間以上(ヘ)	人工腎3 4時間未満(イ)
標本数	6	0	51	0	5	0	0
合計	124,344	0	1,346,996	0	91,308	0	0
平均	20724.00	0.00	26411.69	0.00	18261.60	0.00	0.00
標準偏差	8425.50	0.00	682.51	0.00	12267.22	0.00	0.00
	人工腎3 4時間未満(ニ)	人工腎3 4-5時間(ロ)	人工腎3 4-5時間(ホ)	人工腎3 5時間以上(ハ)	人工腎3 5時間以上(ヘ)	長時間加算	うちダイア計
標本数	0	0	0	0	0	87	1,616
合計	0	0	0	0	0	130,200	3,168,518
平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1496.55	1960.72
標準偏差	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	628.62	760.32
	うち1a型	うち1b型	うち2a型	うち2b型	うちS型	うち特定積層型	透析濾過加算 (50)
標本数	510	0	701	309	82	25	2,445
合計	899,400	0	1,295,108	625,488	167,832	180,690	1,568,500
平均	1763.53	0.00	1847.51	2024.23	2046.73	7227.60	641.51
標準偏差	485.55	0.00	338.32	169.81	304.14	893.57	46.74
	ヘモダイア フィルター	夜間	障害	水質確保	下肢末梢	50：手術	手術・麻酔
標本数	2,430	881	1,073	3,876	3,678	113	124
合計	8,478,240	3,866,500	1,870,400	503,880	367,800	1,761,112	1,764,556
平均	3488.99	4388.76	1743.15	130.00	100.00	15585.06	14230.29
標準偏差	256.05	1181.59	333.36	0.00	0.00	6807.52	7845.90
	うち輸血	うちPTA(初回)	うちPTA(初回 実施後3月以内)	初回実施後3月 以内理由ア	初回実施後3月 以内理由イ	うちシャント	うちその他
標本数	18	67	21	5	7	1	20
合計	99,546	1,213,854	364,292	81,140	129,363	8,818	74,602
平均	5530.33	18117.22	17347.24	16228.00	18480.43	8818.00	3730.10
標準偏差	4569.37	4373.98	1295.17	0.00	1279.96	0.00	2703.59
	60：検査	うち生体	うち検体	70：画像	うち胸部	うち胸部ほか	80：その他
標本数	2,477	1,351	1,818	2,930	2,231	998	32
合計	1,012,629	655,562	333,336	782,765	132,019	650,746	66,492
平均	408.81	485.24	183.35	267.16	59.17	652.05	2077.88
標準偏差	527.21	574.59	169.77	586.64	31.18	854.90	1218.99

表 6 (つづき)

	院外処方	請求合計	除夜間	除障害	除夜障手	レグバラ	オルケディア
標本数	0	3,938	3,938	3,938	3,938	96	936
合計	0	162,032,438	158,165,938	160,162,038	154,530,982	226,130	1,344,039
平均	0.00	41145.87	40164.03	40670.91	39240.98	2355.52	1435.94
標準偏差	0.00	5200.27	4871.95	5055.36	3542.49	1558.95	884.76
	ホスレノール	レミッチ	エルカルチン	リオナ	ピートル	オキサロール	ロカルトロール
標本数	1,643	252	17	724	445	1,010	523
合計	2,180,698	732,198	36,672	679,400	788,472	886,254	537,560
平均	1327.27	2905.55	2157.18	938.40	1771.85	877.48	1027.84
標準偏差	782.94	1543.04	850.90	514.52	995.80	516.82	483.67
	エルカルチンFF	パーサビブ	ロケルマ(合算)				
標本数	675	813	0				
合計	751,500	1,240,944	0				
平均	1113.33	1526.38	0.00				
標準偏差	310.94	795.03	0.00				

り、2018年の42,095点と比較し949点(2.3%)の大幅な減少となっている。その間、処置料は32,773.5点から32,354.8点へ419点減少、投薬料は3,610点から2,967点へ643点減少しており、請求合計の減少に及ぼす影響は診療報酬による人工腎臓点数引き下げより、薬価の引き下げ・後発医薬品の上市の薬関係の影響の方が大きかったことがわかる。

以前から高額薬剤として再掲として集計しているランタン、シナカルセト、ナルフラフィン、カルニチン、クエン酸第二鉄、スクロオキシ水酸化鉄の6剤に、昨年エボカルセトを、今年からジルコニウムシクロケイ酸ナトリウム(商品名ロケルマ)を追加した8剤を高額薬剤として集計している。これら8剤の請求合計は2,201点であり投薬料の74%を占めることとなり、2018年の53%と比較して投薬料に占める割合は上昇していた。

慢性腎臓病に伴う骨ミネラル代謝異常(CKD-MBD)の治療薬であるシナカルセト：エボカルセト：エテルカルセトは使用件数で96件：936件：813件となっており、シナカルセト使用割合は今年度調査ではかな

り小さくなっており、エボカルセトへの移行が順調に進んでいることをうかがわせた。

シナカルセト、ランタン、ナルフラフィンに関しては後発医薬品も含めて集計している。2018年と比較しランタンの請求は1,979点から1,327点へ652点(33%)減少、ナルフラフィンの請求は4,059点から2,905点へ1,154点(28.4%)減少していた。後発医薬品の発売と薬価の引き下げによる影響と考えられた。

6 さいごに

2020年の透析医療費実態調査の結果から、維持透析一回あたりの請求額は3,024.4点と前回の3,083.5点から60点の減少、一昨年(2018年)の3,063.5と比較し39.1点の減少であった。この減少は、2018年改定後のバイオシミラー登場によるESA製剤価格の低下により2020年診療報酬改定において人工腎臓点数が56点と大幅に引き下げられたことに加え、投薬料が大幅に減少したことが原因である。ただオンラインHDF症例割合の上昇により、請求点数の減少は、一定程度緩やかとなったと考えられた。